

実践記録

学校/学年	中学校 / 1 年	
教科等：単元名	学級活動：「ネット被害」	
キーワード	携帯電話 釣り上げ 罨	
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	d3：情報社会の危険から身を守るとともに、不適切な情報に対応できる
	中目標項目番号 中目標項目内容	d3-1：予想される危険の内容がわかり、避ける
授業会場	パソコン教室 普通教室 特別教室〔 〕 その他〔 〕	
学習の目標	携帯電話は、家族との連絡やインターネット、写真が撮れるなど便利な持ち物といった認識の生徒が、携帯電話の使用によるネット被害の実際のビデオを視聴し、携帯電話利用時の注意点を理解することができる。	
使用教材	教材名	クローズアップ現代 急増！子どものネット被害～携帯サイトに潜むワナ～
	製作者	NHK 放送総局ライツ・アーカイブスセンター
	入手先(URL 等)	NHK ティーチャーズ・ライブラリー

展開

	学習活動	指導 評価
導 入	1 携帯電話に対する意識を確認する。 2 これから見る番組の概要を聞き、視聴するにあたっての心構えを作る。	・携帯電話が欲しいかまだ必要ないか、その理由を考えさせる。 ・携帯電話が持ちたいという生徒に、自分が将来携帯電話を持つようになった時、今回の学習が役立つことを伝える。
展 開	3 携帯電話に対するイメージを発表する。 4 「急増！子どものネット被害」を視聴する。	・携帯電話が単なる電話機としての機能だけではなく、インターネットへの接続、カメラ機能等様々な機能を持っていることを意識させる。
お わ り	5 学習して気づいたことや感想を学習カードに書く。	自分が今後携帯を所持するようになった時、携帯電話の様々な面を踏まえた上で携帯を利用しようとしているか。

生徒の感想

- ・携帯電話は持ち歩けたりいろいろできて、便利としか思っていなかったけど、いろいろなことができるから危ないということが分かった。
- ・携帯電話は、便利なイメージがあったけど、インターネットを利用していろいろな被害が出ていることはあまり知らなかったのが驚いた。

成果と課題

- ・携帯電話はまだ必要ないと考えている生徒が 8 割弱であり、携帯電話の利便性しか意識していなかった生徒に、携帯電話による被害の実態を映像で視聴させたことで、携帯電話の負の面の側面について理解を深めることができた。
- ・やがて手にするときにも、こうした被害に遭わないように注意したいと意識することができた。
- ・保護者と生徒両方に呼びかけたり、注意を喚起していくことが必要である。